

令和元年7月12日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6  
一般財団法人日本環境衛生センター  
理事長 南川 秀樹

令和元年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、土壌試料中の金属等（鉛及びその化合物、砒素及びその化合物の2項目）を対象とします。高等精度管理調査（1）として、模擬水質試料中の農薬（詳細項目としてイプロベンホス、フェニトロチオンの2項目、参照項目としてシマジン、イソプロチオラン、フェノブカルブ、アセタミプリド、グリホサート、クロチアニジン、ジノテフラン、フィプロニルの8項目）を対象とします。また、高等精度管理調査（2）として、底質試料中のPCB及び総水銀を詳細項目として実施します。本調査に関する詳細は、本調査のウェブサイト(<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)をご覧ください。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件担当

環境事業第二部 竹内、佐々木

電話 044-287-0766

令和元年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領  
(民間、大学、独立行政法人等)

1. 調査試料

区分	名称	容器 (内容量)	個数	備考
共通試料 1	土壌試料 (金属等分析用)	ポリエチレン瓶 (約60 g)	1	粉体
共通試料 2	模擬水質試料 (農薬分析用)	アンプル (約5 mL)	2	液体
共通試料 3	底質試料 (PCB、総水銀分析用)	ガラス瓶 (約60 g)	1	粉体

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 土壌試料(金属等分析用)

試料中の金属等 2 項目(鉛及びその化合物、砒素及びその化合物)を測定対象とする。  
参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬水質試料(農薬分析用)

試料中のイプロベンホス、フェニトロチオンの 2 項目を測定対象(詳細項目)とする。  
なお、シマジン、イソプロチオラン、フェノブカルブ、アセタミプリド、グリホサート、  
クロチアニジン、ジノテフラン、フィプロニルの 8 項目を参照項目として測定対象とする  
(参照項目の分析条件等については、詳細な調査は実施せず、分析結果の報告のみとする)。  
参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

b. 底質試料(PCB、総水銀分析用)

試料中のPCB及び総水銀を測定対象(詳細項目)とする。  
参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 土壌試料(金属等分析用)

「土壌含有量調査に係る測定方法を定める件」(平成15年環境省告示第19号)に規定さ  
れている方法による分析する。

(2) 模擬水質試料(農薬分析用)

「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定  
方法について」、「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被  
害の防止に係る指導指針」、「要調査項目等調査マニュアル」、「水質汚濁に係る農薬登  
録保留基準」に規定される方法、あるいは上記に加えて同等以上の方法を用いてもよい。

(3) 底質試料(PCB、総水銀分析用)

「底質調査方法」(平成24年 8 月環境省水・大気環境局)又は「外因性内分泌攪乱化学  
物質調査暫定マニュアル(水質、底質、水生生物)」(平成10年10月、環境庁水質保全局  
水質管理課)に定める方法により分析する。上記に加えて「絶縁油中の微量PCBに関する  
簡易測定法マニュアル(第3版)」(平成23年 5 月環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対  
策部産業廃棄物課)、「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」(平成20年 3 月  
環境省水・大気環境局水環境課)に準拠した方法により分析してもよい。総水銀につい

ては「底質調査方法」（平成24年8月環境省水・大気環境局）もしくは「水銀分析マニュアル」（平成16年3月環境省）に定める方法により分析する。

#### 4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

##### (1) 配布時期（予定）

8月下旬を予定（詳細は後日、ウェブサイト上に掲載）

配布日の詳細が固まり次第、ウェブサイトでお知らせ致します。

##### (2) 報告期限（予定）

10月7日（月）

ただし、分析結果報告の方法（ウェブサイト又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、9月30日（月）となります。

##### (3) 調査結果の報告（公開等）

- ・全体の中間報告は12月下旬頃を予定しています。
- ・分析結果を報告いただいた機関には、年度末（3月頃を想定）に「調査結果報告書（本編）」、「調査結果報告書（資料編）」を送付予定としています。

#### 5. 申込方法

申し込み方法には「郵送による方法」、「ウェブサイトによる方法」があります。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(2)申込先へ送付ください。

「ウェブサイトによる方法」は、平成26年度から平成30年度に本調査へ参加頂いた機関におきましては、ウェブサイト「<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに入力してください。平成26年度から平成30年度の期間に本調査へ参加しなかった機関及び参加したが「機関コード」、「パスワード」をお忘れになった機関におかれましては、ウェブサイトによる申し込みはできませんので「郵送による方法」でお申し込みください（注）。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

（注）今年度の参加申し込み機関の「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせしますので、「郵送による方法」でお申し込み頂いた機関におかれましても、分析結果報告等はウェブサイトからの報告が可能となります。

(1) 申込期限 令和元年8月9日（金）（必着）

(2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6  
一般財団法人日本環境衛生センター  
環境事業第二部 竹内、佐々木  
TEL 044-287-0766

### (3) 参加の区分及び費用（税込み）

区分		費用	
共通試料 1		25,000円	共通試料 1～3 合わせて 74,000円
共通試料 2		27,000円	
共通試料 3		25,000円	
分析結果の 報告の方法	ウェブサイト にて報告	増額なし	
	用紙にて 報告	共通試料毎に 各3,000円増額	

## 6. その他

### (1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

### (2) 分析結果の公表

各種の統計量の算出根拠に該当する報告値、分析条件別の回答数、あるいは各種の文章表現等につきましては、機関名は伏せた上で公表します。参加申込をいただいた機関については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

又、希望する機関につきましては、機関名を伏せた上でZスコアを結果報告書（資料編）に併記します。希望される場合は試料ごとに参加申し込み書にご記入をお願いいたします。

### (3) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

### (4) ウェブサイトによる分析結果報告の作成

環境測定分析統一精度管理調査ウェブサイトで本調査に関する情報等を閲覧することができます（<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>）。

参加機関は、当ウェブサイトから分析結果報告を行ってください。用紙による報告は必要ありません。ウェブサイトによる報告が難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、用紙による報告の場合、ウェブサイトによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

### (5) 試料の追加請求

原則として、1分析機関につき事前にお申込みいただいた1セットの試料を送付しています。ただし、募集締め切り後に残余の試料がある場合には、実費相当（+送料）で送付いたします。追加試料をご希望の場合は締め切りまでにその旨ご連絡ください。

# 令和元年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(民間、大学、独立行政法人等)

機関名		
機関コード	(わかれば記入してください)	
所在地	〒	
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)	
担当者	所属	TEL: ( ) -
	氏名	FAX: ( ) - E-mail:
希望する試料、結果の報告方法、及びZ-スコアの併記の希望について  (数字、あるいは分析結果報告の方法を○で囲んでください)	1. 共通試料 1 (ウェブサイト、用紙) (注) (土壌試料：金属等分析用)	
	・鉛及びその化合物 Z-スコアの併記を ( 1. 希望する      2. 希望しない)	
	・砒素及びその化合物 Z-スコアの併記を ( 1. 希望する      2. 希望しない)	
	2. 共通試料 2 (ウェブサイト、用紙) (注) (模擬水質試料：農薬分析用)	
	・イプロベンホス Z-スコアの併記を ( 1. 希望する      2. 希望しない)	
	・フェニトロチオン Z-スコアの併記を ( 1. 希望する      2. 希望しない)	
	3. 共通試料 3 (ウェブサイト、用紙) (注) (底質試料：PCB、総水銀分析用)	
	・PCB Z-スコアの併記を ( 1. 希望する      2. 希望しない)	
	・総水銀 Z-スコアの併記を ( 1. 希望する      2. 希望しない)	

(注) 分析結果報告の方法 (ウェブサイト、用紙) を○で囲んでいない場合は、ウェブサイトによる報告として取扱いますので、ご了承ください。Z-スコアの併記について○で囲んでいない場合は「希望しない」として取扱いますので、ご了承ください。

一般財団法人日本環境衛生センター 殿

令和元年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

令和元年 月 日

機関名

印